-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、膠原病リウマチ内科では、国立循環器病研究センターと共同で実施する下記研究のために、本学で保管する下記の診療情報等を下記代表責任研究機関に対して提供しています。

この共同研究の詳細をお知りになりたい方は、下記の本学での研究内容の問い合わせ担当者もしくは代表責任機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。尚、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対して利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じく本学での問い合わせ担当者もしくは代表責任機関の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[共同研究課題名]　大型血管炎の外科治療および周術期管理に関するレジストリ研究

[共同研究の代表責任機関及び研究代表者]
代表責任機関・研究代表者：国立循環器病研究センター　血管生理学部　部長　中岡良和
本研究に関する問い合わせ先：国立循環器病研究センター　血管生理学部　部長　中岡良和
電話：06-6170-1070(代表)

[利用・提供の対象となる方]
2008年1月1日～2020年12月31日の期間にで心臓手術もしくは大血管手術を受けられた高安動脈炎、巨細胞性動脈炎の患者さまで、当院膠原病リウマチ内科または小児科に通院、入院歴のある方

[利用・提供している診療情報等の項目]
診療情報：（情報）基本情報（生年月、性別、診断名、診断日時、身長、体重、BMI、HLA、理学的所見、画像所見、合併症）、術前評価（血液検査所見、画像評価、罹患血管、心臓超音波検査）、手術情報（手術内容、使用した器具、手術前後の内科的治療内容、病理所見）、術後退院するまでの経過（人工呼吸器離脱までの期間、合併症、死亡）、退院してからの経過（ステントおよびバイパス血管の開存状態およびその際の内科的治療内容、吻合部仮性瘤の発生およびその治療内容、死亡、血管炎の再燃）

[利用・提供の目的]（遺伝子解析研究： 無 ）
高安動脈炎と巨細胞性動脈炎の患者さんが手術前後でどのような治療を受けておられたのか、また術後どのような経過を辿っておられるのかを調べ、手術の合併症と関連する因子を見つけることで、将来同じ病気で手術を受けられる患者さんにより良い治療を提供することを目的としております。

[共同研究機関及び研究責任者]
JCHO大阪病院（有田陽）、東北大学（石井智徳）、岡山大学（内田治仁）、東京医科歯科大学（前嶋康浩）、九州大学（新納宏昭）、京都大学（吉藤元）、川崎医科大学（渡部芳子）、東京大学（赤澤宏）、愛媛大学（石崎淳）、横浜市立大学（伊藤秀一）、あいち小児保険医療総合センター（岩田直美）、東京医科大学（岩橋徹）、東京女子医科大学（宮前多佳子）、国際医療福祉大学三田病院（重松邦弘）、名古屋大学（清水優樹）、聖マリアンナ医科大学（杉原毅彦）、埼玉医科大学（橋本拓弥）

[利用・提供期間および主な提供方法]
期間：倫理審査委員会承認後より2026年3月までの間（予定）
提供方法：□直接手渡し □郵送・宅配 □電子的配信 ■その他（EDCデータベース入力）

[この研究での診療情報等の取扱い]
倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、どなたのものなのかわからないように安全管理措置（匿名化）をしたうえで取り扱っています。

[東京女子医科大学における研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]
研究責任者：膠原病リウマチ内科　准教授　氏名　宮前多佳子
研究内容の問い合わせ担当者：膠原病リウマチ内科　准教授　氏名　宮前多佳子
電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9 時～16 時）